発表！

2017年度貸出ランキング

2018.1.31調べ

	タイトル	請求記号
1	『読書力』(岩波新書:新赤版 801) 齋藤孝	080 / IR 2
2	『蜜蜂と遠雷』恩田陸	913.6 / O 65
3	『コンビニ人間』村田沙耶香	913.6 / Mu 59
4	『これ一冊で裁判員制度がわかる』読売新聞社会部裁判員制度取材班	327.67 / Y 81
	『告白』(双葉文庫:み-21-01) 湊かなえ	913.6 / Mi 39
5	『高慢と偏見 改版 上巻』(岩波文庫:赤 (32) -222-1) ジェーン・オースティン/富田彬訳	080 / I-R
	『夜は短し歩けよ乙女』森見登美彦	913.6 / Mo 54
6	『夜と霧 新版』ヴィクトール・E・フランクル/池田香代子訳	946 / F 44
7	『何者』朝井リョウ	913.6 / A 83
8	『忍びの国』和田竜	913.6 / W 12

リレーコラム「First Step」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。早速ですが、図書館にはもう来館されましたか。ピッとカードをかざしたら、そこからは図書館の空間が広がります。

図書館の本は学生の皆さんであれば、貸出冊数は無制限です。貸出は、2階貸出カウンター、もしくは自動貸出機で手続きできます。貸出期間は2週間、予約がなければ、さらに2週間の延長も可能です。返却は、2階の返却カウンター、または、ブックポスト(図書館M2階・2階入口横、教学センター掲示フロア)もあるので、ぜひ利用してください。

困ったこと・わからないことがあれば、私たち図書館員に何でもお尋ねください。皆さんの来館を心から楽しみにしております。
この春、皆さんに、本や人との新しい出会いがやってきますように。

もりわき
(森脇)

編集後記

第5号発行しました! 実は第4・5号の編集メンバーは全員『BOOKMARK』編集未経験者🔰ばかりでしたが、たくさんの方々のご協力のもと無事に発行することができました。本当にありがとうございました!
第5号では、図書館を快適に利用するための基本的な情報や学生スタッフである図書館ピア・サポーターについて紹介しています。
広島修道大学図書館ならではの魅力をぎゅ〜っと詰め込んだ1冊になっていますので、お手に取ってゆっくりご覧いただけると嬉しいです。

なかしま
(中嶋)

図書館(2階・3階)開館時間

	授業期	休暇時
平　日	8:45〜20:30	9:15〜16:30
土曜日	10:00〜16:00	休　館
日曜日	10:00〜16:00	休　館

表紙モデル:法学部　高野 翔太・辻本 瑞貴

発行・編集:広島修道大学図書館　発行日:2018年4月1日
〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1-1
TEL:082-830-1112　FAX:082-830-1964
URL:http://www.shudo-u.ac.jp/library/
E-mail:tosho@js.shudo-u.ac.jp

次号は2018年10月1日発行予定です

ここから図書館のホームページへアクセスできます

あなたと図書館をつなぐ情報誌

BOOKMARK

第5号

2018/4/1　［ブックマーク］TAKE FREE

CONTENTS

特集2 図書館へようこそ！
特集2 4 学内外で広がる図書館ピア活動
連載
6 Kyouは何しに図書館へ?
8 この本にブックマーク!
10 イベントブックマーク
12 教員エッセイ…中西 大輔
14 職員エッセイ…松本 要
16 ランキング／リレーコラム／編集後記

＼フェイスブック継続中!／
ShudoLibrary

特集

図書館へようこそ!

ピッ!

学生証

Welcome to the Library!

広島修道大学図書館では、本の貸出や勉強だけではなく、いろいろなことができます!
まずは、学生証を「ピッ」とかざして図書館に入り、館内を歩きまわってみましょう。
自分だけの図書館利用法を見つけて、充実したキャンパスライフを始めてみませんか?

図書館に入館するには

学生証を青い部分にかざそう→「ピッ!」。

ゲートが開いたら入館しよう。

退館するには

黒いバーを手で押そう。

2階カウンター

図書館に入るとすぐ、カウンターがあります。
場所によって役割を分けているので、確認してみてね。

書庫利用はここで受付

ピアは図書館の学生スタッフだよ 気軽に声をかけてね

ピア

利用受付

レファレンス

レファレンス

グループ学習室・研究個室を利用するときは、ここで受付 学生証と交換で鍵を渡します

調べ物で困ったら、ここに相談しよう

貸出・延長

貸出・延長

返却

受付

本を借りるときはこちら! 返却期限の延長は、1回だけできるよ

本を返すときはこちら! 貸出期限を過ぎたときは必ずカウンターに来てね

学外の人も手続きすれば入れるよ

館内飲食厳禁

豆知識 本学学生の皆さんは、図書の貸出冊数に制限はないよ

約87万冊の蔵書が待っています

3階 一般図書 C OP

英語リーダーズコーナー

研究個室

グループ学習室

2階 入口 MP C

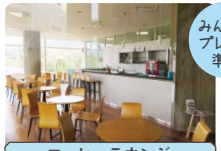
フリーPCコーナー

新聞コーナー

DVD・CDコーナー

参考図書コーナー

M2階 エントランスホール C OP MP

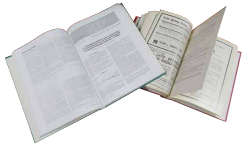


コーヒーラウンジ

ラーニング・コモンズ

図書館自習室

協創館書庫 洋雑誌



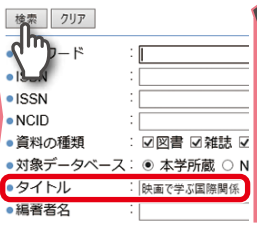
1階書庫

書庫1~3層 和書

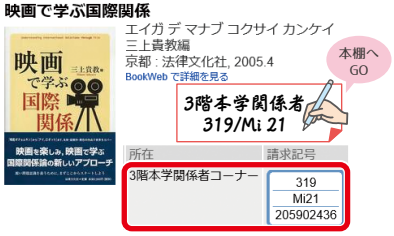
PC Big Pad ホワイトボード 蓋付飲料可 C コピー機 OP オンデマンドプリンタ カラー印刷可 MP プリンタ モノクロA4のみ OP オンデマンドプリンタ モノクロ印刷のみ

OPACを使ってみよう!本のタイトルやキーワードで検索できるよ

1 タイトルを入力して検索



2 所在と請求番号をメモ



研究個室は6時間、グループ学習室は3時間まで利用できるよ

・特集２・ 学内外で広がる 図書館ピア活動 GO! GO!

図書館ピア・サポーター

図書館には、図書館ピア・サポーターと呼ばれる学生スタッフがいて、図書館利用のサポートをしています。
授業期の平日10時～17時に活動していますので、気軽に声をかけてくださいね。
目印は、赤いストラップの名札です。

ピアの活動

図書館ピア・サポーターは、「アイから広がる図書館づくり」を理念として活動しています。「アイ」は、I（私）、愛♥、出会い、eye👀（目線）を意味します。具体的には、読書会の主催、本や雑誌などの検索補助、書庫の利用案内、机の上の清掃、プリンタの用紙補充などの活動を行っています。活動を通して、よりよい図書館づくりを目指し、自分を磨き、仲間を大切にすることを学んでいます。

祝 大学祭に図書館ピアが初出展!!

大学祭に図書館ピアが初出展しました。
大学図書館学生協働交流シンポジウムで発表したポスター、おすすめ本のポップ、活動写真、しおりやリーフレットなどを展示しました!
この出展で学内だけでなく、学外の方にも図書館ピアのことを知ってもらう素晴らしい機会になりました。☺
大学祭で展示したものは、12月に図書館M2階エントランスホールでも展示しました。

おすすめ本のポップ

第７回 大学図書館学生協働交流シンポジウム

2017年９月５日、６日に愛媛大学城北キャンパスで開催されました。本学からは図書館ピア４名と図書館職員１名が参加し、発表や見学をしました。

グループワーク
大学図書館の悩み・不安→解決策の検討

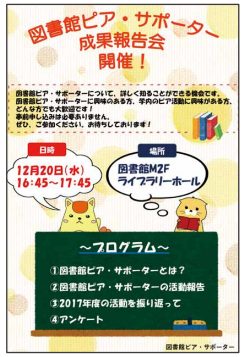
見　学
愛媛大学松山大学図書館

ポスター発表
図書館ピアの活動を発表

楽しかった。また、参加したい！
他大学の図書館と比べて、初めて分かることがあった。
普段の活動について自信を持って発表することができた。

「2017年度図書館ピア・サポーター成果報告会」開催!

2017年12月20日に図書館ピア・サポーター主催の成果報告会を開催しました。この報告会は、より多くの学生・教職員に図書館ピアのことを知ってもらうために、図書館ピアが自ら企画しました。
報告会では、図書館ピアの活動内容や活動の成果・課題などを発表しました。



発表スライドへのアクセスはこちら

書庫に入るときは2階カウンターいちばん奥のピア・カウンターで手続きしてね

一度本棚から取り出した本は元に戻さないで返却台に置くようにしてね！

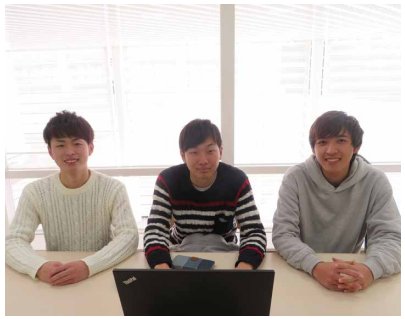
連載

Kyou（きょう）は何しに図書館へ？

Q1 所属学部・学年
Q2 ニックネーム
Q3 何しに図書館へ？
Q4 図書館にひとこと

A1 法学部・４年
A2 たかのん、みずき
A3 判例を探しに来ました。
A4 自分の読みたい判例が充実していて素晴らしいです!

A1 健康科学部・２年
A2 まこ、あやか
A3 心理学実習のための本を探しに。
A4 とても落ち着く空間です。



A1 経済科学部、商学部、経済科学部・２年
A2 れんた、たかのり、りょうすけ
A3 教養のレポート。
A4 静かで落ち着いた環境です。

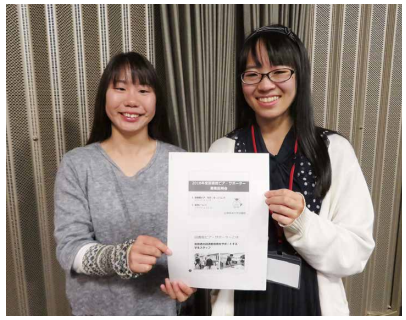
A1 人文学部・４年
A2 あかね、ともやす
A3 教員採用試験の勉強。
A4 集中して勉強できる。

A1 商学部・３年
A2 まやぼよ、あっちん、みのりん、まゆゆ
A3 授業の課題。
A4 いつもありがとう。

探している資料が図書館にないときは、購入希望を出すことができるよ（本学学生のみ）

A1 経済科学部・２年
A2 れんちゃん、まさすけ、だいき
A3 課題、テスト勉強。
A4 静かでとても集中しやすいです。

A1 法学部・３年
A2 りな、めぐ
A3 文献探し。
A4 キレイで本が探しやすい。



A1 人文学部・３年
A2 あや、みゆきち
A3 図書館ピア成果報告会に来ました。
A4 静かに勉強ができる環境だと思います。

A1 商学部・２年
A2 りょうご、みなとだに、ゆうき、ソウタ
A3 ガイダンスに来ました。
A4 自分の夢を探しに来ました。

A1 人間環境学部・４年
A2 けん
A3 配架のアルバイトに来ました。
A4 利用しやすく、職員さん優しいですよ!

A1 経済科学部　教員
A2 増澤先生
A3 借りていた資料の返却および延長。
A4 十分には利用できずに申し訳ありません。

撮影にご協力いただきました利用者の皆さん、ありがとうございました。次回はあなたに突撃インタビュー♪

調べものの分からないことがあれば、レファレンスカウンターで聞いてみてね!

読んでみよう！ オススメ本

今回は 2018 年度に新設された国際コミュニティ学部の教員、図書館ピア・ サポーターが主催する読書会の参加者にオススメ本を紹介してもらいました。

国際コミュニティ学部　木原 一郎 先生

『みんなでつくる総合計画：高知県佐川町流ソーシャルデザイン』

チームさかわ著／学芸出版社

今は様々な人と（多様性）、一緒になって（包摂性）、まちの未来を描く時代です。この本には今の地域行政・まちづくりにおいて貴重な資料となる事例と過程が記録されています。この過程でまとめられたビジョン（行動方針）はどれも参加してみたいものになっています。また事例の中では公務員だけでなく、市民や高校生も参加しています。大学生もまちづくりにおいて重要な立場です。学生時代から色々なことに参加してみてください。

所　　在：3階一般図書
請求記号：318.28/C 45

国際コミュニティ学部　名波 彰子 先生

『ニュージーランドを知るための63章』

青柳まちこ編著／明石書店

「所得保障」。政治に関心のある人であれば、この言葉を聞いたとき、「北欧の政策かな?」と思うのではないでしょうか? 実はこれ、南太平洋にぽつんと存在するニュージーランドも1930年代から実施しています。美しい大自然、人間よりも牛が多いのんびりした国―こんなイメージのニュージーランドは、その一般的イメージを覆すいくつもの先進的政策を持っています。思いこみから脱して実像を学ぶため、本の海に飛び込みましょう。

所　　在：3階一般図書
請求記号：302.72/A 57

法学部国際政治学科4年　西野 凛也 さん

『Doraemon：Gadget Cat from the Future』

藤子・F・不二雄著／小学館

読書会で紹介！

英語を学ぶ第一歩はまず楽しむことだ。そう閃き私はこの一冊を選びました。この本は大人から子供まで愛される「ただの漫画」だと思われるかもしれませんが、この本では知っている言葉だけでなく、わかりそうでわからない言葉が多くあります。それは私にとって英語表現のとてもいい勉強になりました。なによりこの一冊を読み英語を楽しみながら学ぶことができました。
みなさんも学習方法に悩んだらぜひ一度読んでみてはどうですか?

所　　在：3階英語リーダーズ
請求記号：837.7/Sh 95

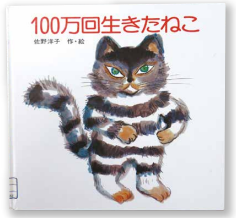
人文学部人間関係学科4年　Sさん

『100万回生きたねこ』

佐野洋子作・絵／講談社

読書会で紹介！

この物語の主人公は100万回生まれ変わりを繰り返しているねこです。ねこは、ある時は王さまの、またある時は手品つかいの飼いねこでした。100万人の人がねこを可愛がり、100万人の人がねこが死んだ時、泣きました。でも、ねこはどの飼い主のことも嫌いでした。生まれ変わりを繰り返す彼が次になったのは、のらねこでした。100万回も生まれ変わりを繰り返すことに周囲のねこが感心し興味を持つ一方で、ただ1匹見向きもしない白いねこに彼は惹かれていきます。
その後、物語がどう展開していくのかは、ぜひ手に取って読んでみてください。短いお話ですが、きっと心に残る一冊になるはずです。



所　　在：2階絵本コーナー
請求記号：726.5/St 66

このページで紹介された図書は2階カウンター付近に展示しているよ!ぜひ読んでみて♪

年に数回、図書館ピア主催の読書会があるので気軽に参加してみてね

学内 Book Hunting 2017

• 学内 Book Huntingとは… •

学生や教職員が図書館に置いて欲しいと思う資料を選ぶイベントです。2017年9月25日～29日の間、図書館M2階エントランスホールで開催しました。

• 図書館オリジナルグッズキャンペーン •

「くじ」で当たりを引くと図書館オリジナルのバッグをプレゼント! SNSでイベント告知をしてくれた方にも各日先着5名に特製Tシャツをプレゼントしました。

参加者に選ばれた資料が…

Book Hunting 展示

2017年度は12月に展示がスタート。今回、図書館に新たに加わった図書はなんと **859** 冊!
人気のあった上位50位までの図書をランキング形式で展示しました。

• Book Hunting 展示　平日限定　コラボ企画 •

返却日付の違うしおりを3枚集めた方には「ボールペン」を、また、展示本を借りて、くじで当たりが出た方には「クリーナー」をプレゼントするキャンペーンを行いました。

今回のBook Huntingでは、本だけでなく、DVDも選べたよ

図書館 ミニ展示 紹介コーナー

その1 図書館と学習支援センター（LSC）のコラボ企画として、関連本を紹介しました。LSCドキュメンタリー・アワーの実施前後に、図書館で展示された関連本を読むことで理解が深まりました。

その2 2017年度はカープやノーベル賞など、その時々で話題になったテーマを展示しました。

その3

• 広島市域図書館協働事業 展示 •

Hiroshima Active Library 協働事業イベントの一環として、「バリアフリーな世界」というテーマで選書した図書を展示しました。

英語多読マラソン

英語多読とは、自分に合ったレベルの英語の本を多数読むことです。読書を楽しみながら英語力を身につけることができる学習方法の一つです。2017年度は6月1日～12月8日をマラソン期間とし、この期間に読んだ英単語の語数が多い方を表彰しました。

2階軽雑誌コーナーには、ファッション・スポーツ・語学・料理などの雑誌もあるよ。館内で読んでね

インプットの砦としての図書館

健康科学部
中西（なかにし） 大輔（だいすけ）

学術活動はインプットとアウトプットからなるが、大学が備えるべき図書館と教授というのはそのインプットの両翼を担う重要な役割を果たしている。一方、近年では学生主体のプロジェクトベーストなアクティブラーニングのようなもの、すなわち学生側のアウトプットがもてはやされている。学生に知識を伝授する「だけ」では「一方的」で「詰め込み」だと叩かれたりもする。その「だけ」にどれだけ苦労しているのかと言ってみても負け犬の遠吠えである。

もちろん大学教員も論文業績により評価されるのでアウトプットの重要性はよく認識している。しかし、大学で学ぶというのは、将来のアウトプットを支えるインプットをどれだけ詰め込めるかによって評価されるべきものではなかったのだろうか。むしろ大学というのは、空っぽな中身でアウトプットさせることを戒める存在でなければならなかったのではないか……端的に言うと、アクティブラーニングが嫌いである。

検索エンジンの進歩によって知識を詰め込むことの重要性はずいぶん減ったと言われている。検索エンジンは確かに膨大な知識をフリーでわれわれに開放している。それならば、大学の図書館や教授といった情報のインプット源はもはや学生にとって不要なのだろうか。そんなことを言われた時代も確かにあった。しかし、検索ができるというのはそんなに簡単なことではない。検索ができるということは、どのようなキーワードを使ったらいいかを知っているということを意味するが、それは実はたいへんなことなのだ。相当その分野に詳しくなければ妥当なキーワードを思いつくことはできない。知らないものを検索するのに、検索するものはあらかじめ知っている必要があるという難しさがここにはある。また、検索ができれば膨大な情報が手に入るが、得られる情報の質はばらつきが大きい。そのような意味で、検索エンジン時代には、得られる情報の格差がむしろ大きくなったとも言える。

図書館は図書を配架するだけではなく、レファレンスサービスも提供している。私自身は専門分野に関する情報を検索するのはそれなりに得意だと思っているが、それでも図書館に負けることが多々ある。検索しても見つからないし、本学の図書館でも契約していない雑誌の論文コピーを取り寄せる手続きをしたら、なんとネットで手に入ることを図書館職員が教えてくれるのだ。実はこういうときは相当悔しい。図書館は館内にある情報を把握しているだけではなく、世界中から必要な情報を検索する高度な検索能力を有している。

私自身はリアルな図書館を訪れることはあまりないが、それでも論文を書くときには図書館のデータベースにアクセスし、見つからない論文はレファレンスサービスを利用して取り寄せてもらったりする。こうしたサービスなくして研究活動は進まない。アウトプットの強化が教育改革だと見なされる現代では図書館のような存在は地味だし反動的でさえある。本とその検索システムという側面よりも、今後はむしろ学習の場としての役割が大きく評価されるのかもしれない。しかし、それはそれで悪くない。確かに2年前に滞在した英国レディング大学の図書館は24時間開放されており、快適なソファや豊富な電源（英国らしく一部は常に故障していて使えない）、Wi-Fiがあり、蓋がついていれば飲み物も持ち込めた。入口にあるカフェで「カプチーノ」を頼むとなぜか毎回「カップオブティー」が出てくるのには閉口したが、英国人はあまり英語が得意ではなく、私の英語を理解しないことが多いので多少のことは仕方がない。そもそもカプチーノよりも紅茶の方が安くて低カロリーなのだし、飲み物を持ち込めるのはありがたいことだ。また、学内には当然のようにパブも併設されており、昼間のインプットをもとにビール片手に議論するアクティブラーニング環境もばっちりである。図書館の24時間開放と、学内でうまい生ビールが飲めるパブの併設をぜひ大学当局には前向きにご検討いただきたい。いずれも質の高い学術活動のために必要不可欠である。

記憶と記録

図書館
松本（まつもと）　要（かなめ）

又次郎（著者撮影）

本学図書館のミニ展示コーナーの一例

数年前、ある猫と出会った。その猫は、近所の飼い猫らしくて、時々、朝の通勤途上にその家の玄関前で見かけた。その猫は、出会うたびに、ジロ（；一_一）と私を見ていたので、「またジロと見ている。」と思って、又次郎と名付けた。ある日思い切って、「ニャ〜ン」と呼びかけると、又次郎も「ニャ〜ン」と鳴きながらいそいそと寄ってきて、スリスリしてきた。その時は、通勤電車の時間もあるので、「またね。」といって、職場に向かった。

それから、たびたび会っていくうちに、私の帰宅時間を覚えたらしく、玄関先で待ち伏せして、「ニャーニャー」と言いながら、寄ってくるようになった。猫は、文字が書けるわけでもないから、記録は取れるわけがない。私がその道を通って、帰宅する曜日、時間を記憶したのかもしれないが、当時、私は歯医者に通っていたし、常に同時刻にその道を通っていたわけでもないので、不思議だった。

帰宅時間に出会うと、私も猫に構ってやれる時間が取れるので、猫にとっても楽しみな時間だったのだろう。構ってやる時間が少ないと、わざと私の前に立ち塞がり、「物足りない。」と言いたいのか、歩くのを邪魔したぐらいだから、又次郎もやるもんではある。実は、後日談があって、雄だと思っていたその猫は、飼い主である老夫婦に聞くと「ミカ」という雌猫であった。そして、その猫は一年後、交通事故で亡くなった。記録としては写真を何枚か撮ったが、今は記憶の中でしか又次郎は存在しない。

記録で言うと、私には苦い経験がある。大学生時代、音楽クラブに入っていた私はステージでの発表の場があったが、写真を含めてその記録を持っていない。今思えば、友人に写真の一枚でも撮ってもらえばよかったと、後悔している。最近、学生時代にボーカルの先輩と一緒に演奏し、録音を残していたはずの60分のカセット・テープが見つかった。聴いてみると1分ぐらいで先輩との録音は切れて、残りはラジオ番組の録音に変わっていた。その時の価値観では先輩との録音は取るに足りなかったかもしれないが、今となっては残念至極である。人の価値観は時間が経つにつれて変わっていくものかもしれない。その時はどうでもよいことが、今になっては貴重になる。またその逆もあるかもしれない。

図書館で記録と言えば、「図書館の自由に関する宣言」の中で、「図書館は利用者の秘密を守る」という項目があり、誰が何の本を借りたかという読書事実（記録）を外部に漏らさないことにしている。一方で図書館にはMy Libraryというwebサービスがある。これは図書館を利用するときに役立つ、利用者(注1)個人で管理するシステムである。一例として4年生になって卒論を書くときに、今まで読んできた図書館の本の履歴を見ることが出来る。記録として残っているのである。読んだ本の中身を事細かに覚えている人は少ないと思う。ただ、内容はある程度覚えていて、もう一度、読み返したいとき、この履歴（記録）は役に立つだろう。

記録をとるという習慣は、身に着けたいものである。メモを取るのも立派な記録であり、記憶だけに頼ると失敗してしまう事はよくある。最近はスマホで写真に撮って記録している学生が多いが、これは悪い事ではないと思っている。ただし、それを整理していかないと、何を記録したか忘れるから、記録したことにはならない。と、書きながら、私自身、今まであまりメモを取ってこなかったし、記憶力も落ちているのだから、言えた義理ではない。

（注1）My Libraryは本学学生・教職員専用webサービスです。

My Libraryからは予約、貸出期間の延長や自分の借りた履歴も確認できるよ
雑誌記事や論文を探すときは、データベースも活用できるよ！詳しくはレファレンスカウンターまで